指導と評価の年間計画（シラバス）

学校番号	1205
大阪府立岬高等学校　総合学科	

平成　31 年度　　家庭　　科

教科	家庭(専)　科	科目	子ども文化	単位数	2　単位	年次	3　年次
使用教科書（出版社）	子ども文化（教育図書）						
副教材等（出版社等）	なし						

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもと遊び、表現活動、児童文化財など、子どもの生活の中での文化活動を学びます。理論の学習だけでなく、おもちゃや布絵本を製作し、子どもの遊びの観察や保育実習を通して保育者としてふさわしい考えや行動を身につけましょう。

2．学習の到達目標

子どもにとっての遊びの重要性と役割、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を習得させ、子ども文化の充実を図る能力と態度を育てることを目標とする。

3．学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	子ども文化に関心を持ち、課題や体験学習内容に意欲的に取り組んでいる。 保育者としての考えやふさわしい行動を身に付けようとしている。	子どもの発達段階についての課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現している。	基礎的・基本的な知識や技術を身に付け、課題製作や発表に活かしている。	子どもの発達と保育、子ども文化の重要性を理解できている。 保育者としてふさわしい考えや行動を理解し、身につけている。
評価方法	取り組み態度 提出物、課題への取り組み状況 実習記録、レポート 自己評価　等	取り組み態度 提出物、課題への取り組み状況定期考査 自己評価　等	取り組み態度 提出物、課題への取り組み状況 実習記録、レポート 作品製作、実技テスト 自己評価　等	取り組み態度 提出物、課題への取り組み状況定期考査 自己評価　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4．学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	子ども文化の重要性	第1章 子ども文化とは 第2章 子供と遊び	子ども文化とは	○	○			a.子どもの文化の重要性に関心を持ち、課題に意欲的に取り組もうとしている。	取り組み態度 提出物、課題への取り組み状況 作品製作、発表 定期考査
			子どもの発達と遊び	○	○			b.子どもの文化、発達と遊びに課題を見出し、思考を深めている。	
			遊びと遊具・玩具	○	○	○		c.玩具の製作の技術を習得する。玩具の安全性も理解する。	
			子どもの遊び方（DVD鑑賞）	○	○		○	d.子どもの発達と遊びの関連性を理解する。	
2学期	子どもと遊び、表現活動と児童文化財	第3章 子供と表現活動 第4章 子供と文学	子どもの表現活動の面白さ	○				a.子どもの表現活動について理解する。	取り組み態度 提出物、課題への取り組み状況 作品製作、発表 定期考査
			言語表現活動	○	○			b.絵本を読む練習をし、読み聞かせの発表をする。	
			絵本とは	○	○			c.児童文化財を製作する。テーマを決め、布絵本を製作する。	
			製作、発表			○	○	d.児童文化財が子どもたちに与える影響を十分理解する。	
3学期	児童文化施設、子ども文化実習	第7章 子ども文化実習	子どもと関わる前に	○				a.主体的に学習に取り組もうとしている。	取り組み態度 提出物、課題への取り組み状況 作品製作、発表 定期考査
			遊びの観察と子ども理解	○	○			b.子どもの遊びの観察の方法を学び、思考を深めている。	
						○	○	c.発達段階に応じた玩具の製作を通して、子どもと遊ぶ技能を学ぶ。	
								d.保育者としてふさわしい考えや行動を理解し、身につけている。	